

## 第 24 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：平成 30 年 12 月 14 日（金） 13：00～14：15

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第 2 大会議室

### 1. 小規模デブリ取り出しの検討状況について

東京電力から、小規模燃料デブリ取り出しの検討状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 燃料デブリの取り出しや容器に燃料デブリを収納する先端ツールについては、具体的な作業に基づいた重量や反力からアームの健全性を担保できる設計とするべきである。
- 燃料デブリを輸送する容器について、密封性の確保の要求に対しどのような構造とするか、作業上の容器の取扱いを踏まえた上で、設計を実施するべきである。
- 小規模燃料デブリ取り出しの作業については、この作業の目的や期待される成果及び次のステップの設計のためにどのような情報が必要か等を明確にして作業内容を計画することが重要である。
- 設備設計に際しては、作業に応じた計画の更新に対応できるように、作業期間に対し余裕を持った寿命の設定や設備の拡張性も考慮するべきである。
- 燃料デブリの保管設備については、何よりも安全性を優先するべきであり、そのために必要な安全対策を十分に検討を行うこと。
- 燃料デブリの保管時に発生した水素を排出する際、ごく微量に発生する希ガスについて、どのように扱うかよく検討を行うこと。

### 2. 2号機 PCV 内部調査の準備状況について

東京電力から、2号機 PCV 内部調査の準備状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 内部調査で用いる装置の制御については、適切に調査対象にアクセスすることや、装置の保護の意味で、調査場所の 3 次元的情報を適切に用いた操作ができるよう、情報の入手方法の考慮や訓練を行うことが重要である。

以上